

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 11 日作成)

小委員会名	伝統的木造建築物設計例整備小委員会		主 査 名：大橋 好光 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：五十田博
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	『限界耐力計算による伝統的木造建築物構造計算指針』を補追する形で設計法を作成する。いくつかの建物タイプを設定して、具体的な設計例を整備する。 ・初年度：「住宅タイプ1」の設計例をまとめる。 ・2年度：「住宅タイプ2」「社寺タイプ1」の設計例をまとめる。 ・3年度：「社寺タイプ2」の設計例をまとめる。以上の設計例を「設計事例集」としてまとめる。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有		
	主査：大橋好光(東京都市大学) 幹事：中尾方人(横浜国立大学) 藤野栄一(職業能力開発総合大学校) 委員：河合直人(工学院大学)、軽部正彦(森林総合研究所)、坂田弘安(東京工業大学)、 荘所直哉(明石工業高等専門学校)、北守顕久(京都大学)、戸田正彦(北海道林産試験場)、 山崎義弘(東京工業大学)、楠 寿博(竹中工務店)、山田耕司(豊田工業高等専門学校)、 佐藤弘美(東京大学)、宮本慎宏(香川大学)、宇都宮直樹(近畿職業能力開発大学校)		
設置 WG (WG 名：目的)	設計例作成WG：設計例の詳細を検討する。		
2017 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：-	

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 設計例を作成するに際して、対象建物を決定し、作業を開始した。 2. 「限界耐力計算による伝統的木造建築物構造計算指針」に追補する接合部等の設計法の確認を行った。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 特になし